



毎月十五日発行 社会 宗像 定価 一年送料共 1000円

神具・装束 株式会社 井筒 福岡市博多区東公園二丁目一三二番

秋季大祭まぢか

沖・中両宮の御神璽をお迎えし



神郡の仲秋を飾る、秋季大祭(田島放生会)がいよいよ近づいた。

Table with festival schedule: 九月三十日(金) 午後五時 総社地主祭, 十月一日(土) 午前八時三十分 中津宮出御祭, etc.

無視した教育は注入教育であって許されぬ、ことに核問題については深い考慮が必要である。

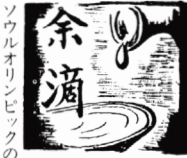
平和教育について

いぬいとみこ作の童話で、小学国語二年用の教科書に読むこの学習のためには掲載されたものである。

無視した教育は注入教育であって許されぬ、ことに核問題については深い考慮が必要である。今日の平和教育はそのような発達段階を無視して行われているのが実状である。

これに対して文部省は、この童話を小学校二年生の児童に正確に読みとらせることは、この段階の児童の発達段階

このところが、このような平和教育にも赤信号が出始めていることを、六月十四日の読売が取り上げている。広島平和教育研究所が行った平和教育実態調査(小学校五・六年と中学生)による

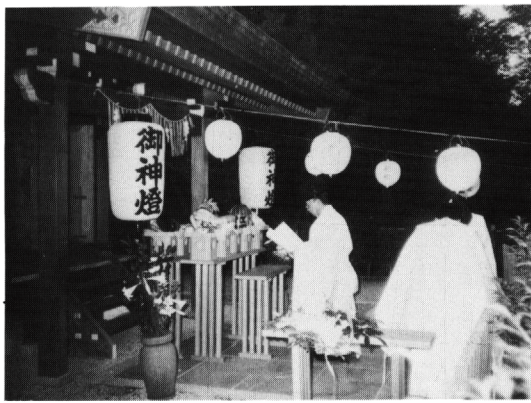


第三六回 宗像大社歌会詠草 八幡東 輪竹 キト 毎月末日 中村 吾郎 選

八幡東 輪竹 キト 義元が討たるるシーンに過きてる児を背に歩きぬ炎熱の中を (評) 駅も列車も、の列車も、に臨場感があり、追憶の歌ではあまり強く響く、四十年へルリンオンリックより始まったあのヒットソウさへ火は神聖なものと考えたのだらう。火を神聖なものとする考えは洋の東西を問わない。

宗像護国神社

戦没者追悼慰霊祭斎行



宗像護国神社戦没者慰霊祭は、真夏の夕陽が西空を茜に染める八月十五日午後七時、遺族会々員、田島区子供会一同、厳肅に斎行され、引続き千灯明・花火大会、更には田島区総出で盆踊が行われた。

大東亜戦争の終結より、今年も早くも四十二年目を迎えた。天皇陛下の忍び難きを忍び、耐え難きを耐え、祖國の復興に盡せしと云う終戦の詔勅を知る人等は、國民の半数以下になってしまつた。あの戦中、戦後の困窮と悲惨と耐乏の生活、又苛酷な戦中に國家の萬歳を折つて尊い生命を捧げられた護國の英靈に対する感謝・追慕の心が、裕福で平

若木台(福岡町)

宗像大社氏子会結成

一 新興団地郷土意識に燃えて
宗像大社氏子会として結成

去る八月二十日午前十一時、福岡町若木台団地の若木台宗像大社氏子会結成奉告祭が会長岡本國雄氏外役員並びに会員四十余名参列のもと宗像大社神前に於て厳かに執り行われた。

若木台宗像大社氏子会結成の機運は、岡本國雄氏、隈豊三郎氏を中心に団地内有志十八名により、新春の一月二十四日に結成準備打合せが若木台公民館に於て開催された。この準備会に宗像大社氏子会より事務局幹事長山田幸雄権備が出席し、宗像大社の由緒並びに大社氏子会の概況を説明すると共に、往古よ

り宗像一円の総守護神として広く崇拜されている大社御祭神の神徳発揚と大社護持並びに地域住民への郷土意識、社会連帯の啓蒙を図る場として氏子会結成の要請を行った。

若木台団地はJR鹿兒島本線と国道三号線に挟まれ福岡町と宗像市に接する丘陵地を昭和四十六年五月二年に亘つて宅地造成を履行し、住宅専用団地として完成した。現在では約五〇〇〇余戸(一四〇三戸)が居住する新興団地で同町の東部に位置し、宗像大社と共に三団地の一つである。住民の多数は福岡、北九州

和な日々の生活の中に漸々忘れ去られようとしている昨今ではあるが、終戦記念日の八月十五日には、東京の日本武道館に於て、天皇陛下の行幸を仰ぎ、政府主催の第二十六回「全国戦没者追悼式」が行われた。時、あたかも甲子團に於て全国高校野球大会が行われ日本中が選手の一投一打に熱狂する最中ではあつたが正午のサイレンと共に戦没者に対する哀悼の黙禱が捧げられた。

又、全国各都道府県に於て各自自治体主催による追悼式が執行された。宗像護国神社は、宗像市郡出身の戦没者一千四百数十柱が奉斎されている。昭和五十八年に遺族会々員、市町村長会、軍憲連、傷軍人会を始め一般在住者の浄財二千五百万円を以つて再建された神社で、全国戦没者追悼式に合せて慰霊祭

を行つてはいるが、この祭典も毎年に参加者が増加し、盛大な行事は誠に喜ばしい事である。当日、早朝より田島区々長以下役員、育成会々員総出で、千灯明や盆踊りの準備、舗設、炊出し等を行つた。生憎とこの日は、夕立模様で、宗像市近郊は激しい雷雨に見舞われたけれど、僅かに軒離れた護国神社は神慮の賜物か、僅かに小雨がパラつた程度であつた。

又、今年新たに宗像市遺族会、田島地区遺族会と書される「宗像護国神社」と大書された県遺族会長遠藤政夫氏が揮毫の大幟が掲げられた。暮れなずむ境内に、百数十個の提灯に灯りがともされ、境内・参道に特設された、灯明数個の灯心には、ガマの穂で作られたタイマツを持つ子供等の手によつて運送したい。

かくして、夏の慰霊祭は終わったが、又しても、竹下総理の靖国神社公式参拝は行われなかつた。良識ある日本國民の理解と結果によつて更に、根強く公式参拝の実現に向つて邁進したい。

昨年七月一日に着工、福岡町懸案の新しい福岡町公民館が、宗像郡福岡町手光の「わかたけ広場」に隣接して、この程完成した。従来の福岡町公民館は、現在の労働者体育館近くにあり、元炭鉱主の別荘といわれる民家であつたが、文化的施設や生涯教育の場の充実など地域住民の多種多様なニーズに対応する為にも、新公民館の建設となつた。尚従来の公民館は福岡町公民館分館となる。

完成した新公民館は、鉄筋コンクリート一部三階建てとなつており、延べ床面積四千八百三十三平方メートルで、講演会や音楽会等の各種催しに使用出来るホール

氏子総代総会開催

一 奉幣使に楠理氏(玄海町) 一

宗像郡市民あげてのお祭りである、宗像大社秋祭大祭を真近にひかえた、去る九月八日(木)午前十一時より、宗像大社氏子会総代総会が、当大社清明殿に於て開催された。

当日は、河野会長を始め各地区評議員・総代百四名に加え、特別評議員の小山県議、和町玄海町議長、矢野福岡町議長が出席、例年にも増して活気のある総代総会となつた。

総代総会では、倉元副会長の開会の辞の後、国歌斉唱、神宮並びに自居連邦、敬神生活の綱領唱和と続き、河野氏子々々長、当社養父宮司の挨拶が行われ、議事は、宗像大社秋祭大祭祭典並びに神賑行事の日程が、担当の神島儀式課長

を進行しているが、この祭典も毎年に参加者が増加し、盛大な行事は誠に喜ばしい事である。当日、早朝より田島区々長以下役員、育成会々員総出で、千灯明や盆踊りの準備、舗設、炊出し等を行つた。生憎とこの日は、夕立模様で、宗像市近郊は激しい雷雨に見舞われたけれど、僅かに軒離れた護国神社は神慮の賜物か、僅かに小雨がパラつた程度であつた。

又、今年新たに宗像市遺族会、田島地区遺族会と書される「宗像護国神社」と大書された県遺族会長遠藤政夫氏が揮毫の大幟が掲げられた。暮れなずむ境内に、百数十個の提灯に灯りがともされ、境内・参道に特設された、灯明数個の灯心には、ガマの穂で作られたタイマツを持つ子供等の手によつて運送したい。

かくして、夏の慰霊祭は終わったが、又しても、竹下総理の靖国神社公式参拝は行われなかつた。良識ある日本國民の理解と結果によつて更に、根強く公式参拝の実現に向つて邁進したい。

議事終了後、万才三唱を上西郷校区の桑田評議員の首領により行い、出昭会長らの閉会の辞を以つて昭和六十二年九月定例総代総会は無事終了した。

福間町公民館が完成

一 社会教育の拠点として

昨年七月一日に着工、福岡町懸案の新しい福岡町公民館が、宗像郡福岡町手光の「わかたけ広場」に隣接して、この程完成した。従来の福岡町公民館は、現在の労働者体育館近くにあり、元炭鉱主の別荘といわれる民家であつたが、文化的施設や生涯教育の場の充実など地域住民の多種多様なニーズに対応する為にも、新公民館の建設となつた。尚従来の公民館は福岡町公民館分館となる。

完成した新公民館は、鉄筋コンクリート一部三階建てとなつており、延べ床面積四千八百三十三平方メートルで、講演会や音楽会等の各種催しに使用出来るホール

を進行しているが、この祭典も毎年に参加者が増加し、盛大な行事は誠に喜ばしい事である。当日、早朝より田島区々長以下役員、育成会々員総出で、千灯明や盆踊りの準備、舗設、炊出し等を行つた。生憎とこの日は、夕立模様で、宗像市近郊は激しい雷雨に見舞われたけれど、僅かに軒離れた護国神社は神慮の賜物か、僅かに小雨がパラつた程度であつた。

割分担当が山田幹事長より、各々発表・説明され、全員一致協力して大祭に奉仕することが承認された。

次いで、大祭に宗像郡市の代表として奉仕される、氏子奉幣使の選出をお願いし、今回の当番町である玄海町で相談の結果、田島校

議事終了後、万才三唱を上西郷校区の桑田評議員の首領により行い、出昭会長らの閉会の辞を以つて昭和六十二年九月定例総代総会は無事終了した。

最後にその他の議題に入り、事務局より秋季大祭ホースターの掲示依頼、大祭期間中の参拝案内等を行つて議事を終了した。

この総会を終ると、後は沖津宮御神饗を中津宮にお迎えし、いよいよ本番を迎えるのみとなる。

七月十六日、デンマークのホルステブロー市の体操チームが当大社を参拝、一般参拝者も、時ならぬ外国人参拝団に目をパチクリとさせていた。

一行はホルステブロー市長夫妻、デンマーク領事とデンマーク体操チームの少

特に少年少女達は、お守りや絵馬堂の頼い絵馬、神職・巫女の白衣・袴姿に興味をおぼえたり、しきりに質問をしたり、巫女と一緒に記念写真を撮つたりしていた。

八月一日 月次祭
福岡高等検査長検査長村上流光氏外一名参拝職員並びに職員家族懇親会

八月一日 宗像商會宗像正幸氏外六名参拝
八月三日 古川少年スポーツ団四十一名参拝
八月四日 出光興産(株)取締役業務部長白木徳一郎氏外二名参拝就任奉告祭斎行
八月六日 県神社庁糸島支部長武内公文氏外同総代会一七〇名参拝
八月七日 出光興産(株)兵庫製油所長河野茂氏参拝
八月八日 下関美術館長財津次氏外福教大芸芸員栗野生二名参拝
八月九日 韓国中央大学教授佐石井孝氏来社
八月十一日 交通安全センター、九州自動車道古賀サービスエリア
八月十二日 出光興産(株)福岡支店副支店長吉川沈氏・販売一課長竹内秀夫氏来社
八月十五日 月次祭
宗像護国神社戦没者慰霊祭 千灯明
八月十六日 筑紫舞家西山村光寿氏参拝
八月二十一日 山口県高松神社宮司外氏子青年会十七名参拝
釜釜市鹽竈神社宮司磯貝洋一氏外六名参拝
八月二十三日 神社本庁資料室長奥重氏外一名参拝
八月二十四日 宗像警察署次長久門正治氏着任挨拶の為来社
八月二十六日 中津宮翼賛会との懇親ソフトボール大会
八月二十七日 県立福岡高校国語科教諭十五名来社
宗像市長滝口凡夫夫妻、中田健三夫妻来社
八月三十日 出光興産(株)福岡支店総務課松本氏、八尋氏外来社

デンマーク体操チーム参拝

社務日誌抄

社務日誌抄

社務日誌抄

社務日誌抄

